

26

TAKE FREE

hospitalityC&urt

メディカルコート八戸西病院広報誌「ホスピタリティコート」

特集： 地域医療フォーラム

教育と医療の現場から展望する 社会を支える理系女子

八戸高専 総合科学教育科 教授 戸田山 みどりさん

社長の健康メッセージ

住友電工電子ワイヤー株式会社 八戸事業所 所長 作田 正男さん



教育と医療の現場から展望する 社会を支える理系女子

社会のさまざまな分野での女性の活躍が広がっている中で、理工系の教育を担う八戸高専の女子学生の比率は全国の高専や大学工学部の平均より高い約3割になっています。同校での女子学生に対するキャリア教育や、女子小中学生が理系分野に興味、関心を持つための取り組み、女性の活躍について、公益財団法人シルバーリハビリテーション協会の田中理事長が同校教授の戸田山みどりさんに伺いました。

八戸高専

総合科学教育科 教授 戸田山 みどりさん

1958年山形市生まれ。東京大学文学部卒(英語英米文学専攻)。名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程単位取得退学。学術博士(国際コミュニケーション)。専門は英語圏児童文学。2001年より八戸工業高等専門学校助教授。11年より現職。



(公財) シルバーリハビリテーション協会
理事長 / 医師 田中 由紀子



子の作成に協力しています。絵本も含めて、子ども向けの面白い理系の本はたくさん出版されています。その中で私は、必ず理系分野で活躍する女性の話を入れるようにしています。これまでに、は虫類の研究にいそしんだロンドン博物館の女性研究員や、日本で初めての女性医師である荻野吟子さんの伝記などを紹介しました。こういった本に触れることをきっかけに、理系分野に興味、関心を持つ女子小中学生がもっと増えればよいと考えています。

田中 専門職が多い理系分野は、結婚や子育て、転職によるステップアップなど、多様なライフスタイルに合わせて長く働くことができる点も良いと思います。

戸田山 本校の女子学生も、将来の職業を意識して理系を選んだと思います。「結婚し

たら仕事を辞める」と考えている学生はいないようです。

医療・介護は資格職なので、さまざまなライフスタイルに対応できますね。

田中 医療・介護は昔と比べて就業環境が大きく改善され、女性が生き生きと、長く働ける場所になっています。

今年8月、当協会は、女性の活躍を促進する企業を認定する制度「えるぼし」^(※)の3段階目を取得しました。現在、その上の段階でもある「プラチナえるぼし」の認定も目指しています。女性職員が多いため、ライフスタイルに合わせて多様な働き方が選択できるようにしていますし、女性管理職の割合も高いです。業務を効率化し、男女ともに働きやすく、能力を発揮できるように取り組んでいます。

今後、女性が活躍できる理想的な社会をつくるためには、どのようなことが必要だとお考えでしょうか。

戸田山 大人が「女の子だからそんなことしちゃだめ」などと否定せず、子ども自身が持っている興味や関心を伸ばすサポートをすることが、将来の女性の活躍につながると 생각합니다。

田中 私は、女性が個人よりも家庭の生活を重視している傾向がまだあると感じています。女性自身が何をしたいのかを自ら選び、就業と個人の生活を両立していける環境が理想だと考えています。

今日はお忙しいところ、ありがとうございます。

田中 近年、科学技術分野においても女性の活躍が目覚ましいですね。八戸高専に通う、未来を担う女子学生へのキャリア教育について教えてください。

戸田山 八戸高専は昨年度から、国の事業である「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に参加し、女子生徒に対する理系進路の魅力の発信に力を入れています。本校には、以前から女子学生による「ろぼっと娘」というグループがあり、小中学生にプログラミングを教え、実際にミニロボットを動かしてもらう出前講座を手掛けています。女子小中学生と交流して、理系分野の楽しさを伝える目的もありますね。

田中 年齢が近いお姉さんたちの活躍を見て「かつこいいな、理系に進んでみようかな」と、将来を考えるきっかけにもなりますね。そして学生自身も、学んだことを教えることで、さらなる学びにつながるのではないのでしょうか。

戸田山 ろぼっと娘に参加している学生は、学ぶ意欲が高くなります。そして、学んだ分野に自信や誇りを持って社会に出ていますね。

田中 八戸高専は女子学生の割合が約3割だと伺いました。皆さん、どのような分野を学んでいるのでしょうか。

戸田山 化学系はもとも女子が多いです。建築デザイン系も人気ですが、意外なことに、土木業界に就職する女子学生が増えています。今の土木業界は女性技術者の育成に熱心です。活躍する先輩女性の姿を見て、

自分も進みたいと考えるようですね。また、今年から機械系が「機械医工学コース」に名称が変わり、女子学生も増えています。今は土木も機械も、重い物を持つ力が不要なので、女性も働きやすい業界になりました。

田中 戸田山先生は、小中学生にお薦めの本を紹介する取り組みをしていますね。その中に理系に関する本もあるようですがどのような本を選んでいきますか。

戸田山 5年前から、八戸市の事業であるマイブッククーポンの配布に合わせ、小学生に図書を紹介する「本はともだち」という冊

(※)「えるぼし認定」とは？

女性活躍推進法に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍推進に関する取り組みが優良な事業主を認定する制度。認定は3段階あり、5つの評価項目(採用、継続就業、労働時間等の働き方、女性管理職比率、多様なキャリアコース)のうち、基準を満たしている項目数に応じて取得できる段階が決まっている。星が3個ついているピンクのマーク(右上)は、3段階目を取得した事業主のみ使用可。シルバーリハビリテーション協会は、今年7月27日付で、認定3段階目を取得。青森県のえるぼし認定は10社目で、医療施設を含む法人が認定を受けるのは県内初。



従業員全員の健康が 職場の活気につながる



社長の健康メッセージ

リーダーの人生は健康メソッドの宝庫だ。

vol.26 住友電工電子ワイヤー株式会社

八戸事業所 所長 作田 正男 さん

profile: 1958年兵庫県明石市出身。九州工業大学工学部機械工学科卒業。1981年住友電工入社。2018年から現職。

子どもの頃から好奇心旺盛

大学卒業後、住友電工に入社し、これまで国内外のさまざまな拠点で勤務してきました。八戸事業所には2018年2月に赴任。その前はマレーシアに4年間駐在していました。年中暑いマレーシアから極寒の八戸に来た当初は戸惑うこともありましたが、おいしい食やお酒などに恵まれ、楽しく過ごしています。

出身は兵庫県明石市。目の前に淡路島がある、温暖な土地です。幼少期から今に至るまで心身ともに健康で、これまでに大きな病気をしたことはありません。

子どもの頃から好奇心が旺盛で、昆虫採集、鉄道模型、カメラ、旅、クラシックギターなど、興味が湧いたことにはすぐに取り組んできました。トレッキングの経験もあり、八戸に来てからは階上岳を歩いたこともあります。この持ち前の好奇心が、会社員としてさまざまなアイデアを生むことや、新しいことにチャレンジする意欲につながっていると思います。

健康を保つため、普段の生活では、なるべく野菜や魚を食べるように心掛けています。お酒は毎日、缶ビール本やグラ

男女共に活躍しています。

主力の医療用極細同軸ケーブルは、世界中の医療機関で使われています。ケーブルという医療機器の中の二部品ではありますが、私たちの製品が、世界中の人々の健康増進の一役を担っていることに誇りを持っています。製品がどんどん進化していくことで、病気の早期発見、早期治療につながり、より多くの人の健康寿命を伸ばすことができると信じて、事業にまい進していきます。

スワインー杯程度。たばこを吸う習慣はありません。

また、ここ10年ほどは毎年欠かさず人間ドックを受けています。もし健康上の問題が発生したら、早期治療に努めるつもりです。

休日には一万歩程度のウォーキングをしますし、平日は体操などをして、なるべく体を動かすようにしています。月に1、2回、ゴルフの練習場に行くことも。コロナ禍が落ち着いたら、ぜひゴルフ場でプレーをしたいですね。

安全を意識した行動を

仕事における座右の銘は「有言実行」。



上) 前身である東北エス・イー・アイ社設立から25周年を記念して整備したグラウンドで、活気あふれる従業員たちと一緒に撮影

下) 昼休みにグラウンドで野球を楽しみながら汗を流す従業員

トップの有言実行の姿勢が、従業員のモチベーションにつながると考えています。製造業は、安全第一が基本。トップが率先して安全を意識した行動を取ること

で、従業員の意識もどんどん向上していきます。

また、活気ある職場づくりのためには、従業員全員が健康であることが重要です。そのために、定期的に心と体の健康相談の場を設けていますし、毎月開催している安全衛生委員会では、産業医にも入ってもらい、職場の安全衛生環境の改善に取り組んでいます。

従業員がそれぞれのライフスタイルに合った働き方ができるよう、フレックスタイ

製品が健康増進の一役に

当事業所は、前身の東北エス・イー・アイ社から数えて、今年で27年。電子ワイヤーの核となる技術である、極細同軸、高速伝送を支える拠点です。超音波診断装置の触手につながる医療用極細同軸ケーブルをはじめ、ヘッドマウントディスプレイやドローン用途など、さまざまな製品を開発、生産しています。私たちが作るワイヤーの中には、丈夫で使いやすくなるために工夫したさまざまなノウハウが詰ま

っています。八戸事業所ではおよそ100人が勤務していて、男女比は8対2。開発、製造、検査とさまざまな工程で、

data

住友電工電子ワイヤー株式会社
八戸事業所

住所：八戸市北インター工業団地4-4-98
設立：2003年4月

住友電工電子ワイヤー

医療機器やPC周辺機器に使用される配線材の開発及び製造を行っている。八戸事業所ではフッ素樹脂を用いた極細ケーブルの開発・設計・製造まで一貫生産を行っている。他拠点ではコネクタ付のハーネス加工なども対応している。

当院には、さまざまな経歴や資格をもつ職員が在籍しています。その個性を生かした活躍ぶりやリアルエピソードをご紹介します。

人にライフあり、ワークあり、歴史あり。

認定看護師として看護の楽しさや大切さを後輩に伝えたい

2012年の回復期病棟への勤務異動を機に、上司からの勧めでリハビリテーション認定看護師資格取得にチャレンジしました。現在のような新型コロナウイルス感染など無い時代でしたので、半年間の集合研修、レポート課題の提出などをクリアし、無事に認定を受けることができました。

その項目の中に、全国一律で「回復期リハビリテーション病棟ケア10項目宣言」というものがあり、第2項目に「洗面は洗面所で朝夕、口腔ケアは毎食後実施しよう」と掲げられています。私が研修を受けていた頃はまだそれが定着していませんでしたが、これを実践できるようにしようと課題にし、今ではそれが当たり前となっています。自分がやろうと提案したことなので、責任をもって継続しなければなりませんし、何より患者さんのために、自分たちは何を手助けできるかを常に考え、新しい職員や学生に伝えています。

資格取得後には日本離床学会の会員になり、学会へ参加することで自己研鑽も続けています。現在、後輩がまさに資格取得の研修を受けている最中です。これからも仲間と協力し合いながら、リハビリ看護の楽しさや大切さを後輩に伝えていきたいと思っています。

ばなりませんし、何より患者さんのために、自分たちは何を手助けできるかを常に考え、新しい職員や学生に伝えています。

資格取得後には日本離床学会の会員になり、学会へ参加することで自己研鑽も続けています。現在、後輩がまさに資格取得の研修を受けている最中です。これからも仲間と協力し合いながら、リハビリ看護の楽しさや大切さを後輩に伝えていきたいと思っています。

略歴	
1991年3月	八戸市立高等看護学院卒
1992～1999年	全国の病院に勤務(夫の転勤)
2005年6月	シルバー病院入職
2012年	回復期リハビリテーション認定看護師取得 現在に至る



※上記取材内容は2021年10月時点のものです。

もっと向上できる、ホスピタリティ。

チャレンジ 改善委員会

サービス、医療安全、感染対策などをホスピタリティ目線で改善するプロジェクト展開中です。



待合スペースにデジタルサイネージを設置しました



診療時間などの院内情報のほかに、健康に関する情報やくつろぎコンテンツなど、リラックスできる映像を放映しています。

外来の待合スペースにデジタルサイネージ(電子看板)を設置しました。文字や映像などを使ってお知らせ内容を表示できる壁掛けテレビのような装置です。通常の診療に関するお知らせの他に、新型コロナウイルス感染予防やワクチン接種に関するポスターなどが壁を埋め尽くすほどの数に増えてきており、多様な患者さまへの正確な情報提供を問題視していました。個別表示のほか複数台同時表示ができるデジタルサイネージの特徴を生かし、ご来院の皆さま目線になって、より分かりやすいお知らせを心がけて参ります。



感染症対策としてビニールカーテンを設置しました



吊り下げ式の透明ビニールカーテンのため、治療中の圧迫感も少なく、スタッフの対応もスムーズになりました。

複数の患者さまが一定時間滞在する透析室やリハビリ訓練室での新型コロナウイルス感染症対策として、治療用ベッドを吊り下げ式のビニールカーテンで間仕切りしました。飛沫による感染を予防し、車椅子やストレッチャー移動にも柔軟に対応できます。透明ビニールを使用することで治療中の様子の確認も容易で、カーテン上部はスプリンクラーや空調の妨げにならない空間を確保しています。患者さんの入れ替わりごとに、カーテンの消毒清拭を行っており、安心して治療を受けていただけるよう配慮しています。

私たちが励みそめたり
癒そめたりしています。

#03

介護福祉士

Certified Care Worker

介護福祉士は施設や居宅訪問などでさまざまな介護業務にあたる国家資格職員です。人生の大先輩から頼りにされたり、感謝の言葉をいただいたり、たくさん関わりを持つことで学ぶことも多く、介護の場面では私たちが励まされたり、癒されることも介護士の仕事の魅力だと感じています。

介護老人保健施設 はくじゅ
介護福祉士 山田 菜々子
聖和短期大学介護専攻卒
社会福祉主事



SGグループが運営する
介護老人保健施設 はくじゅに勤務



青森県第1号の老人保健施設として
多彩なサポート体制を整えています。

08:00 出勤・準備

08:30 午前業務スタート

朝礼後はオムツ交換から始まり、入浴時の着脱、昼食への離床介助、食事介助。食後は口腔ケア、トイレに行く方の排泄介助などを行い、居室で休まれる方の臥床介助をします。午前中は身体介助が多いです。

13:00 昼食休憩

休憩室でテレビを見ながら食事したり、様々な世代の職員への相談や仕事以外の会話で盛り上がり、有意義な時間を過ごしています。

14:00 午後業務スタート

オムツ交換や排泄介助、おやつ時間の臥床、水分補給。記録業務のほかポッチャなどレクリエーションも実施します。夕食への離床、食事介助を行い、終礼となります。

17:30 業務終了

Note 幅広い年齢層、多様なワークスタイルで活躍できる職場環境です。

はくじゅは多様なワークスタイルで働ける職場です。子育てや介護等での短時間勤務、働きながら資格習得へのサポートのほか、未経験へのマンツーマン指導など、職場環境が充実しています。



もっと開こう、
地域へ。

OPEN
HOSPITAL
オープンホスピタル

臨床実習

北海道医薬専門学校 診療放射線学科

地域の医療実習生や職場体験の受入れに
私たちは積極的に取り組んでいます。

担当者だけではなく
スタッフ全員で指導する体制

8月2日から2か月間、当院放射線科としては初めて、北海道医薬専門学校の診療放射線学科3年生の臨床実習を受け入れました。

日頃使用しているMRI、CT、一般、ポータブル撮影やX線TV透視、DEXA、マンモグラフィなどの検査機器のほか、RIS、PACS、3D画像処理などのさまざまな設備やシステムを実際に使い、患者さまとも接しながら、実務体験を通して理解を深めることができました。卒後1〜2年のスタッフから、自身の経験を踏まえた国試対策の指導も行いました。年齢も近いこともあり、楽しくコミュニケーションを取りながらの実習となりました。実習生からも、授業で学んだ知識と現場での実践では感覚的に異なっていたのが、丁寧な指導のおかげで楽しく実習できた、という感想をいただきました。

感染対策で緊張の日々ですが、実習生の志や期待に応え、未来の医療人の育成に貢献できるよう、スタッフ全員で取り組んでいきたいと思っています。



骨密度測定検査の方法を説明しました。患者さまには腰と股関節の2ヶ所を測定することを事前に丁寧に説明することを指導しました。



マンモグラフィ検査は乳房を複数方向から撮影する技術と痛みを減らすために患者さまが安心できる説明の仕方を指導しています。



CTで撮影した画像を処理し、患者様に説明しやすい3D画像を指導者と一緒に作成しました。見やすさ、分かりやすさを心掛けています。



MRIの画像について、撮像条件と画像の見え方の違い、病変の説明を行いました。ポイントごとの質問にも丁寧に答えています。

Information

高次脳機能障害に関する講演会を オンライン開催します

11月6日(土)13:00～14:00、八戸プラザホテルで「高次脳機能障害に関する講演会」を開催します。テーマは「神経変性疾患と認知症」。講師は岩手医科大学脳神経内科 教授 前田哲也先生とのオンライン聴講で参加費無料。定員40名の予約制です。お問い合わせお申し込みは当院医事課 ☎0178-28-4000まで。



※2020年10月撮影

第19回SG研究発表大会を ネット限定公開します

「第19回SGグループ研究発表大会」の様子を11月20日(土)～30日(火)の期間、インターネット配信により限定公開します。今年度のテーマは「医療が守る未来～支え繋ぐ思い～」です。視聴ご希望の方は大会事務局 ☎0178-51-2000またはメール info@silverrehab.jpまでお問い合わせください。



※2019年11月撮影

糖尿病講演会を開催します

11月13日(土)10:00～13:00、当院1階交流ホールで、糖尿病週間にちなんで「糖尿病講演会」を開催します。講師は日本糖尿病学会専門医の石亀昌幸医師、管理栄養士、理学療法士です。参加費無料で定員30名の予約制です。お問い合わせお申し込みは当院総務課 ☎0178-28-4000まで。



写真は石亀昌幸医師

八戸地区連合防犯協会より 感謝状をいただきました

地域における防犯と安全活動に貢献した施設として、八戸地区連合防犯協会より感謝状が贈呈されました。協会では詐欺や窃盗などの犯罪防止活動を推進しており、当院はその支援を行っています。安心安全なまちづくりや防犯意識の向上につながる支援を今後も継続して行っていります。



地域の農家さんが
地域の土と空気と水で育てた食材で
おいしくいただいて健康になる
しあわせ地産スイーツ。

しあわせ
Chisan
Sweets

おいらせ町産かぼちゃを使って
かぼちゃ白玉ぜんざい

Pumpkin Shiratama Zenzai

かぼちゃは、糖質、ビタミン、ミネラル、食物繊維が豊富な緑黄色野菜で、その高い栄養価が魅力の野菜です。黄色の部分はβカロチンで、体内でビタミンAに変わり、肌や粘膜を丈夫にして体の抵抗力を高める作用や、活性酵素を除去してガンなどを防ぐ抗酸化作用があるとされています。

【作り方】

- ① カップ用のかぼちゃをラップで包みレンジで5分程温め、蓋の部分をカットし、中身をくりぬく。
- ② 裏ごししたかぼちゃと白玉粉をあわせて練る。
- ③ 耳たぶくらいの軟らかさになるよう水を少しずつ加えて練って一つにまとめ、かぼちゃの形とだんごに丸める。
- ④ 同様に白玉粉だけを練り、おぼけの形とだんごに丸める。
- ⑤ 沸騰したお湯で茹であげ、水分を切る。
- ⑥ かぼちゃには小さく切った皮をのせ、へたのように見立てる。おぼけはチョコペンで顔を書く。
- ⑦ お皿に白玉を盛り、あずきをかけたら完成。

【材料】4人分

かぼちゃ(カップ用)・・・1個
かぼちゃ(裏ごし)・・・50g
白玉粉・・・100g
水・・・70ml
茹であずき・・・200g
チョコペン・・・適量



管理栄養士
工藤 彩
介護老人保健施設 はくじゅ



公式Instagramで
ご覧いただけます

Event イベントスケジュール

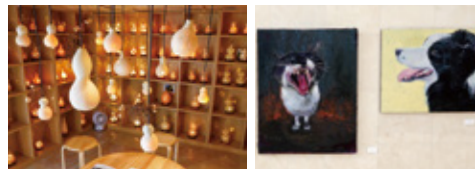
11月13日(土)	10:00～13:00	糖尿病講演会 日本糖尿病学会専門医 石亀昌幸医師	交流ホール	予約制(定員30名)
11月29日(月)～12月26日(日)	終日	クリスマスイルミネーション点灯	交流ホール	自由観覧
12月1日(水)～12月25日(土)	終日	館内クリスマスミュージック放送	交流ホール	自由観覧
随時開催	終日	リハビリ患者さまの作品展	アートストリート または交流ホール	自由観覧

当院1F交流ホールイベントについて

- ・予約制イベントのお問い合わせ・ご予約は、☎0178-28-4000へ。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ステージパフォーマンスを自粛しています。

どなたでも無料観覧できる交流ホールイベント開催中

当院 1F交流ホールでは、どなたでも無料でお楽しみいただけるイベントを開催しています。季節やテーマに合わせた多彩なプログラムのほか、写真や絵画等の展示イベントも開催しております。また、ご来院の方には手指消毒と検温、マスク着用のご協力をお願いいたします。



八戸西健診プラザと広報誌新企画「しあわせ Chisan Sweets」の公式Instagramを開設しました

八戸西健診プラザでは、トピックスやスタッフの仕事ぶりの紹介を、「しあわせ ChisanSweets」では広報誌との連動内容など、皆さまのお役に立てる情報を発信しています。



八戸西健診プラザ
公式Instagram



しあわせ
Chisan Sweets
公式Instagram

Note 編集ノート

八戸版 新型コロナワクチン職域接種を実施しました。

8月30日から10月16日までの期間、東北医療福祉事業協同組合は「八戸版新型コロナワクチン職域接種実行委員会」の構成団体の一つとして、八戸市の職域接種、約28,000人の接種を無事に終えることができました。八戸西健診プラザが中心となり、会場設営から接種まで、たくさんのスタッフが協力し一致団結して頑張りました。ご協力ありがとうございました。



スムーズな接種体制は、青森県ナースセンターの看護師募集対応、そしてご応募いただいた休職・退職の看護師約20名のご協力によるものです。深く感謝申し上げます。